

様式第1号の2(第4条の3関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画(変更計画)書	
令和〇〇年 〇月〇〇日	
(宛先) さいたま市長	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">ホームページへ掲載するので、押印は必要ありません。また代表者以外の担当者名等の個人名など個人情報は記載しないでください。</div>
提出者	
住所 さいたま市〇〇区△△×-×-×	
氏名 〇〇建設株式会社	
代表取締役 埼玉 次郎	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 048-〇〇〇-〇〇〇〇	
さいたま市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例第12条の2第1項の規定により、令和〇〇年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成・変更したので、提出します。	
事業所の名称	〇〇建設株式会社△△支店
事業所の所在地	さいたま市〇〇区△△×-×-×
計画期間	令和〇〇年4月1日から令和□□年3月31日
変更の概要	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">当初提出した計画書の内容に変更があつた場合には、変更となつた内容を記入してください。</div>
当該事業所において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-left: 20px;">← 日本産業分類表上の業種(中分類まで)を記入してください。</div>
②事業の規模	1億円 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-left: 20px;">← 製造業の場合は製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合は元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合は病床数(前年度末時点)、その他の業種の場合は売上高(前年度実績)を記入してください。</div>
③従業員数	30人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→破碎(委託)→再生砕石として再利用 木くず →破碎(委託)→チップとして再利用 →焼却(委託)→最終処分場で埋立処分(委託) <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;">← 当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理工程(当該処理を委託する場合は委託の内容を含む。)を記入する。</div>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物に関する管理組織図等を記入してください。
個人名は記入してください。

産業廃棄物の種類毎に毎年度の実績値を記入してください。
産業廃棄物の種類が3種類以上ある場合は、「別紙のとおり」と記入の上別紙を作成してください(以下同じ)。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度(令和○○年度)実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排出量	○○○ t	○○ t

(これまでに実施した取組)

梱包材の簡素化を図り、排出量の抑制も図っている。

産業廃棄物の種類ごとに、当該計画書の計画期間における目標量を記入してください。

取組内容については、現在実施している取組の内容を具体的に記入してください。(以下、分別、自ら処理及び委託処理に関する事項についても同じ)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排出量	△△△ t	△△ t

(今後実施する予定の取組)

排出量の抑制について、社内研修会を実施する。

計画については、当該処理計画書の計画期間で実施する予定のある場合はその取組内容について具体的に記入してください。(以下、分別、自ら処理及び委託処理に関する事項についても同じ)

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
がれき類、木くずの分別及び石綿含有産業廃棄物の分別を徹底した。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現状の分別を継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 特になし。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">自社で再生利用した産業廃棄物及び自社で中間処理した後に自社で再生利用した産業廃棄物について記入してください。</div>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 特になし。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">自社の焼却施設で熱回収を行っている場合は、熱回収に利用した廃棄物の量（焼却前の重量）を記入してください。</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">自社による中間処理（焼却・脱水等）によって、廃棄物の重量を減らした場合は、減らした重量を記入してください。</div>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	〇〇〇 t	〇〇 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇 t	
(これまでに実施した取組) 社内独自の委託基準を別途設け、委託可能な処理業者を選定する。			

自社の処分場への埋立処分又は海洋投入処分した産業廃棄物及び自社で中間処理した後に自社の処分場への埋立処分又は海洋投入処分した産業廃棄物について記入してください。

平成 23 年 4 月から認定が開始された優良認定処理業者へ委託を行った場合に記入してください。

再生処理されることが確実な業者へ委託を行った場合に記入してください。

平成 23 年 4 月から認定が開始された認定熱回収業者に委託を行った場合に記入してください。

平成 23 年 4 月から認定が開始された認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者に委託を行った場合に記入してください。

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	△△△ t	△△ t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	△△△ t	△△ t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	△△△ t	△△ t
	(今後実施する予定の取組) 委託した処分場等の現地確認を1年に1回実施する。 できる限り、再生利用業者もしくは優良認定業者を選定する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 事業所において常時使用される従業員数が300人以上の製造業者、事業所において常時使用される従業員数が100人以上若しくは資本金（あるいは出資金）の額が5,000万円以上の建設業者、一日当たりの施設能力が30万 m^3 以上の浄水場管理者等又は一日当たりの施設能力が3万 m^3 以上の下水道終末処理場管理者等が事業所ごとに作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。ただし、災害その他やむを得ない事由により当該期限内に当該提出をすることができないと認められるときは、市長が定める期限までに提出すること。
- 3 「変更の概要」の欄は、処理計画の内容を変更する場合に記入することとし、その記入に当たっては、変更をした部分について、変更前及び変更後の概要を対照させること。
- 4 「当該事業所において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業所において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への処理委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 8 ※事務処理欄は記入しないこと。

注 様式は日本産業規格A4により作成すること。